

保育プロセスの質 リフレクションシート

【 ファシリテーター手引き 】

対象人数

- ・ ファシリテーターも含めて10名以内
- ・ 参加者が多い場合には、2グループ以上で行う。その場合、各グループに話題提供者(シート作成者)を設ける。

ファシリテーターの心構え

- ・ ファシリテーターは、「促進者」と考えてよいでしょう。園内研修が停滞した時に、「質問をする」、「発言を捕捉する」、「発言を援助する」などして、議論がスムーズに進むように陰で支えて行く存在です。
- ・ したがって、ファシリテーターは、園長、主任などがふさわしいかと思えます。ただ、自身の意見を述べたくなってしまうかもしれません。その場合には、ぐっと我慢することで、保育者の主体的な思考を促し、保育者の相互理解を深め、保育実践を自分たちで作りに上げているという雰囲気醸し出すことができるでしょう。
- ・ そのためには、「多様な意見を認めあうこと」、「何を話してもよいという安心感をもたせること」、「個別、具体的な事例をもとに語り合うこと」、「感情の交流を促すこと」など基本的なことを最初に確認しておくといよいでしょう。

ファシリテートの方法(例)：進め方について

第1部

第1部の「基本コンセプトの視点から子どもの姿を振り返る」に入りますが、あくまで、園内研修を進めるにあたっての素材を提供していただいたと考えてください。完璧なエピソードではないかもしれませんが、皆さんからの意見をいただきながら、再構成することをめざしています。

「本日は、『〇〇感』についてエピソードを記述していただきました。報告者からの報告の後で、質問やご自身の考える『〇〇感』について発言していただけます。」

「第1部は、個別、具体的な事例をもとに進めていきます。多様な意見を認めあうことを基本としています。また、感情の交流を促すこともめざしておりますので、思ったこと、考えたことを安心して語り合ってください。発言の内容について評価することはしません。」

「それでは、報告者の〇〇先生、7～8分でご報告をお願いいたします。」

— 報告者報告 —

「〇〇先生、ありがとうございました。質問があれば、自由にお問い合わせいたします。」

「なぜ「〇〇感」を選択したのでしょうか？」

「質問だけでなく、他の先生方で、「〇〇感」はこんなふう考えているよということはありませんか？」

など（少人数なので、一人ずつ話してもらおうとよいでしょう）

「報告をしてくださった〇〇先生、ありがとうございました。」

第2部

「第2部では、日常の実践を自己評価することをねらっています。報告者の評価を見ながら、自分の実践を振り返り、比較してみてください。ここでも質問や感想を述べていただこうと考えています。」

「01～25の質問項目の中で、意味がわからなかった箇所はありませんか？→（質問）→どなたか答えていただけの方、いらっしゃいませんか？」

「全体的に評価が低いところをみんなで考えてみましょう。」

「最後に、全体的な感想を一人ずつ教えて下さい。」

第3部

「最後に、研修の振り返りを各自でしてみましょう。」

— シートの回収 —

このシートを使った研修を通して、保育者同士の関係の質を高め、連帯感を持ち、園の組織としての強みを発揮することができるようになることを願っています。